



2026 年 8 月 31 日

各位

会 社 名 サイバーステップホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 湯 浅 慎 司
(コード番号：3810 東証スタンダード)
問 合 せ 先 執 行 役 員 丸 山 慶 訓
(TEL0570-032-085)

第三者割当により調達した資金の用途の変更及び充当完了に関するお知らせ

当社は、2025 年 10 月 20 日付「第三者割当による新株式及び第 42 回新株予約権の発行並びに主要株主である筆頭株主の異動及び主要株主の異動に関するお知らせ」（その後、2026 年 5 月 29 日付「第三者割当により調達した資金の支出予定時期の変更に関するお知らせ」により支出予定時期等を変更しております。）にて公表いたしました調達資金の用途につきまして、下記のとおり変更することを本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。また、変更後の資金用途に基づき、調達資金の総額 7,196 百万円につきましては、2026 年 8 月末をもって全額の充当を完了しておりますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、2025 年 10 月 20 日付開示において、新株式及び第 42 回新株予約権の発行・行使による調達資金につきまして、M&A 及び新規事業運営資金、並びに子会社における運転資金等に充当する方針を公表し、2026 年 5 月 29 日付開示において、未充当額に係る支出予定時期を 2027 年 5 月まで延長いたしました。

その後の各資金用途への充当の進捗及び当社グループを取り巻く事業環境を踏まえ、以下の理由により、資金用途の一部を変更することといたしました。

(1) M&A 及び新規事業運営資金について

当該資金につきましては、当社グループの中長期的な企業価値向上に資する案件への充当を目指し、複数の M&A 候補先についてデュー・ディリジェンス及び事業性評価等を実施のうえ、これまでに複数の企業の子会社化、事業の譲受け及び業務提携を実行してまいりました。また、これらにより取り込んだ事業の立ち上げに要する商品仕入れ・在庫確保等の新規事業運営資金にも充当してまいりました。この結果、当該資金の充当済額は 2026 年 8 月末時点で 3,756 百万円となっております。

一方で、2026 年 5 月 29 日付開示においてお知らせいたしましたとおり、デュー・ディリジェンス等の結果を踏まえた条件交渉において取引条件に関し合意に至らず、実行を見送ることとなった案件も生じており、現時点において具体的な充当予定が確定している新規案件はございません。

以上を踏まえ、当該資金の用途金額を充当実績に合わせて 3,756 百万円（変更前 5,500 百万円）に変更し、減額分 1,744 百万円は、グループ各社運転資金及び子会社ミライツナグ株式会社における運転資金へ振り替えることといたしました。なお、今後の M&A の実行にあたりましては、

自己資金その他の資金調達手段により機動的に対応する方針であり、案件が具体化した場合には速やかにお知らせいたします。

（２）グループ各社運転資金について

持株会社である当社及び既存事業を営むグループ各社において、既存事業の販売力・収益力の強化に加え、取り込んだ事業とのシナジー創出及び融合に向けたグループ横断のマーケティング・販売促進施策の強化、人員体制及びシステム基盤の整備等の運転資金の需要が、当初の想定を上回って生じております。

当社といたしましては、既存事業の運営基盤の強化及び取り込んだ事業とのシナジーの実現に資金を配分することが、中長期的な企業価値及び株主価値の向上に資するものと判断し、M&A及び新規事業運営資金並びに子会社テノーラ株式会社における運転資金・システム開発資金からの振替により、グループ各社運転資金を 1,757 百万円増額し、2,990 百万円（変更前 1,233 百万円）に変更いたします。変更後の金額の内訳は、本新株式に係る手取金 2,344 百万円（変更前 600 百万円）及び本新株予約権の行使及び発行に係る手取金 646 百万円（変更前 633 百万円）であります。

（３）子会社ミライツナグ株式会社及び子会社テノーラ株式会社における運転資金等について

子会社ミライツナグ株式会社における運転資金につきましては、同社の事業運営に伴う運転資金の需要が当初の想定を上回って推移したことから、充当実績に合わせて62百万円増額し、166百万円（変更前 104 百万円）に変更いたします。

子会社テノーラ株式会社における運転資金・システム開発資金につきましては、2026 年 8 月末までに 284 百万円を充当し、当初予定していたシステム開発の主要部分に係る支出を終えております。同社の今後の運転資金及びシステム開発資金は自己資金により対応することとし、使途金額を充当実績に合わせて 284 百万円（変更前 359 百万円）に変更いたします。なお、同社の事業運営及びシステム開発は引き続き継続してまいります。

（４）調達資金の充当完了について

本変更後の資金使途に基づき、調達資金の総額 7,196 百万円につきましては、2026 年 8 月末をもって全額の充当を完了しております。調達資金は、M&A及び新規事業への投資並びにグループ各社の事業運営基盤の強化という当初の目的に沿って充当されたものと考えております。なお、今後の当社グループの事業運営に係る支出につきましては、自己資金等により対応してまいります。

２．変更の内容

変更の内容は以下のとおりです（変更箇所には下線を付しております。）。なお、支出予定時期の括弧書きの数値は、各資金使途の充当済金額（2026 年 8 月末時点）を記載しております。

【変更前】

<本新株式に係る手取金の使途>

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① グループ各社運転資金	600	2025 年 10 月～2026 年 4 月
② M&A及び新規事業運営資金	4,400	2025 年 10 月～2027 年 5 月
合計	5,000	—

<本新株予約権の行使及び発行に係る手取金の使途>

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① M&A及び新規事業運営資金	1,100	2025 年 12 月～2027 年 5 月
② 子会社ミライツナグ株式会社における運転資金	104	2025 年 11 月～2027 年 5 月
③ 子会社テノーラ株式会社における運転資金・システム開発資金	359	2025 年 11 月～2027 年 5 月
④ グループ各社運転資金	633	2025 年 11 月～2026 年 4 月
合計	2,196	—

【変更後】

＜本新株式に係る手取金の使途＞

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① グループ各社運転資金	2,344	2025年10月～2026年8月 (内、2,344百万円支出済み)
② M&A及び新規事業運営資金	2,656	2025年10月～2026年8月 (内、2,656百万円支出済み)
合計	5,000	—

＜本新株予約権の行使及び発行に係る手取金の使途＞

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① M&A及び新規事業運営資金	1,100	2025年12月～2026年8月 (内、1,100百万円支出済み)
② 子会社ミライツナグ株式会社 における運転資金	166	2025年11月～2026年8月 (内、166百万円支出済み)
③ 子会社テノーラ株式会社 における運転資金・システム開発資金	284	2025年11月～2026年8月 (内、284百万円支出済み)
④ グループ各社運転資金	646	2025年11月～2026年8月 (内、646百万円支出済み)
合計	2,196	—

（注）本変更は、M&A及び新規事業運営資金を 1,744 百万円、子会社テノーラ株式会社における運転資金・システム開発資金を 75 百万円それぞれ減額し、グループ各社運転資金を 1,757 百万円、子会社ミライツナグ株式会社における運転資金を 62 百万円それぞれ増額するものであり、調達額の総額（7,196 百万円）に変更はございません。

3. 調達資金の充当状況

変更後の資金使途に基づく 2026 年 8 月末時点の充当状況は以下のとおりであり、調達資金の全額の充当を完了しております。なお、充当済額は当社グループの管理上の集計値であり、今後の精査等により変更となる可能性があります。

区分	調達額（百万円）	充当済額（百万円）	未充当額（百万円）
本新株式に係る手取金	5,000	5,000	0
本新株予約権の行使及び発行に係る手取金	2,196	2,196	0
合計	7,196	7,196	0

4. 今後の見通し

今回の資金使途の変更が当社連結業績に与える影響は軽微であります。当社といたしましては、本変更を通じて取り込んだ事業及び既存事業の運営基盤を強化することが、当社グループの中長期的な企業価値及び株主価値の向上に資するものと判断しております。今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上